

e社会®を支える技術特集によせて



取締役社長・CEO

篠塚 勝正

Katsumasa Shinozuka

200号発刊にあたって

沖電気の技術広報誌「沖テクニカルレビュー」は、今号で記念すべき200号を迎えました。本誌の前身である「沖電気時報」が当社創業50周年記念事業の一環として創刊されたのは1934年（昭和9年）ですから、実に70年にわたり、当社の技術をさまざまな形でお伝えしてきたことになります。また当社の技術者にとって、本誌に論文が掲載されることは自らの技術が社内外に認められるための第一ステップであります。私自身も第78号（1969年）の「OKITACシリーズ」を皮切りに8件の論文を投稿しました。論文を提出してから掲載されるまで、上司や編集委員による査読と指導を何度も経て完成に至るプロセスは、論文の質を高めるための励みであるとともに、学会等に論文を投稿するためのよき訓練の場でもあったと記憶しています。

誌名はその後「沖電気研究開発」、そして「沖テクニカルレビュー」へと変わり、その位置づけや内容も各時代の要請に応え変遷して参りましたが、「吾社不断の研究発表或は新製品の紹介を行い通信事業に関心を有せらるる各位に対し奉仕」*1) したいという創刊以来の精神は不変です。200号に至るまで継続できたのは、常に支えてくださった読者の皆様のお蔭であることをあらためて肝に銘じ、心から御礼申し上げるとともに、今後も引き続き一層のご支援をお願い申し上げる次第です。

e社会とは

さて、大事な節目の200号の特集としてお贈りするのには、「e社会を支える技術」です。私が1998年に社長に就任してから今年で6年となりますが、その間、半導体不況やITバブルの崩壊など、次々と経営的な荒波に遭遇いたしました。伝統に胡坐をかいているだけでは会社は衰退する。変革こそが発展につながる。時代の問いかけに応える次の一手は何か。世界一流でありたい。こうした自問自答の繰り返しの中から生まれた企業ビジョンが

「ネットワークソリューションの沖電気」、すなわち、ブロードバンドIPネットワークをベースとして、お客様がお持ちのさまざまな課題に対し最適なソリューションを提供し、「e（いい）社会」の実現に貢献する企業となろうということでした。

私の考える「e社会®」*2) とは、次のようなものです。これからの社会は「個」が中心となり、その「個」は、その立場、とき、場所、機会等のそれぞれに応じて、数々の側面を持ちます。ある時は企業人、ある時は家庭人、地域社会の一員、純粋な個人等々。この「個」がグローバルに張り巡らされたネットワークを基盤として、時間と空間の制約、国・地域や文化の違いを超え、あらゆる活動を公平かつ安全、確実に行うことが出来る社会、それが「e社会」です。「個」として活動するお客様一人ひとりに「安心」をお届けすることが、当社の役目なのです。

図1に示すように「e社会」実現のためには、次の3つの条件が必要です。

- いつでも、どこでも、誰とでも
―― 時間と空間を超えてユビキタスに
- 欲しい情報を望む形で
―― 便利なサービス／コンテンツを最適なメディアで
- 安全に、確実に、適正な価格で
―― 質の高いネットワークで安心してやりとり

これらの条件を満たしながら常にお客様に的確なソリューションの提供を行ってご満足いただく、この実現の可否が沖電気の将来を決めると考えました。したがって、たとえ過去を捨てることがあっても、グループを挙げてあらゆる努力を惜しまず実現に向けて邁進しよう。こういった姿勢を徹底して6年間経営してまいりました。その結果、お蔭様で国内外においてトップシェアの商品をいくつも生み出すことができたと自負しております。

*1)「御挨拶に代へて」 押田 三郎、沖電気時報第1巻第1号 *2) e社会、AP@PLATは沖電気工業(株)の登録商標です。

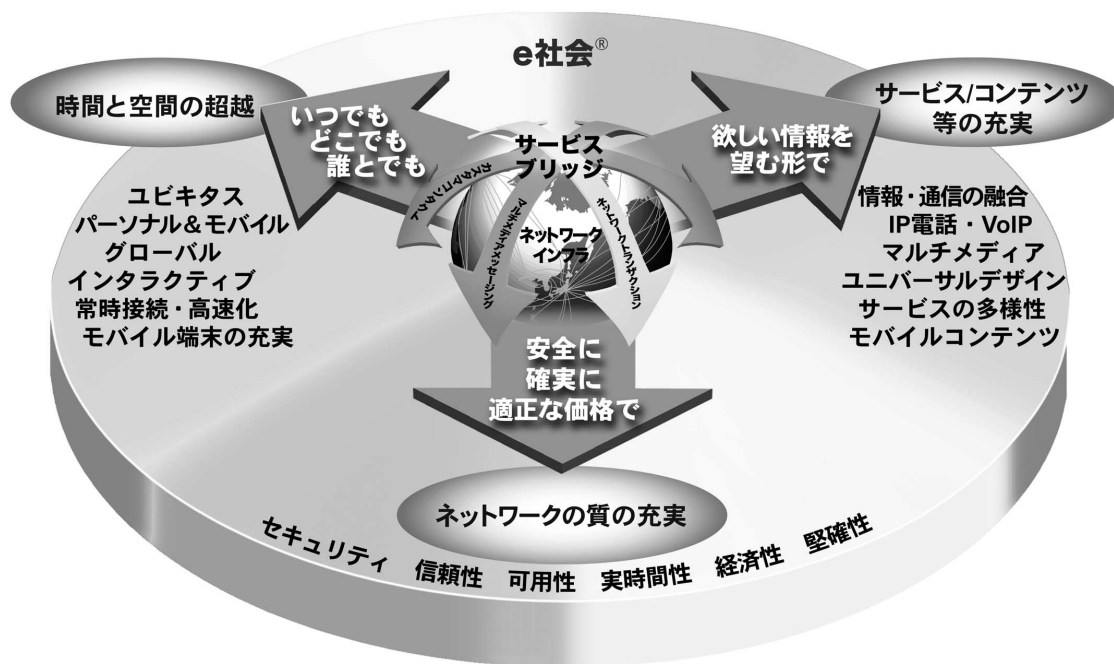


図1 e社会実現に向けて

「e社会」を支える技術

事業構造改革も新たなステージに入った今年、沖電気は強い事業・技術・商品を更に強くするため、「情報と通信の融合」「特徴あるLSI開発」「カラープリンタのシェア拡大」を中期的な経営目標に掲げました。

「情報と通信の融合」は、当社の第一の柱です。その基本コンセプト（「FAP@PLAT®」*2）は、ブロードバンドネットワークの上位に目的別の各種プラットフォームを用意し、これを上手に利用して、市場やお客様から要求されるアプリケーションをタイムリーに提供し課題解決を図るというものです。

技術・商品・サービス等において徹底した情報（IT）と通信（IP）の融合を進め、この構造を効率的・効果的に実現します。当社の得意技術であるセキュリティ、サウンド、ワイヤレス、メカトロニクス、大規模ネットワークを基盤に、CTI（Computer Telephony Integration）、VoIP（Voice over IP）、映像配信、決済、各種Webサービスなど、情報と通信の融合によりお客様の新しい価値とビジネスの創出が可能となるようなソリューションの開発・提供を加速させます。

「特徴あるLSI開発」では、半導体のビジネスモデルとして日本で初めて構築したファブフリーモデルにより、高

付加価値な半導体事業の積極展開を図ります。パーソナル・モバイル市場のニッチリーダを目指し、システムLSIを軸に小型・低消費電力・高速・高耐圧とともにソフトウェア技術の特徴をも活かした競争力あるLSI開発に注力します。

また「カラープリンタのシェア拡大」では、他社の追随を許さない沖電気独自のLED（Light Emitting Diode）技術により小型・高速・高解像度を実現し、システム・ネットワークプリンタとしても充実した機能をもつカラー・ノンインパクト・プリンタを世界100カ国以上で事業展開し、シェアの拡大を図ります。今後とも更なる機能・性能の向上により、競争力ある新商品を開発してまいります。

本特集においては、当社の注力分野におけるさまざまな「e社会を支える技術」を、「いつでも、どこでも、誰とでも」「欲しい情報を望む形で」「安全に、確実に、適正な価格で」という3つの切り口からご紹介しております。「沖テクニカルレビュー」にとって大きな節目である200号特集が、皆様に「ネットワークソリューションの沖電気」が目指す「e社会」の姿を改めてご認識いただく、そしてその実現を支える広範な技術の一端なりともご理解いただくための一助となれば幸いです。

